

## 80周年記念韓国遠征説明会要約

2026年2月20日（一部修正）

オンライン説明会

### 主なポイント

- 拏山は韓国の代表的な山で、5月は登山のベストシーズン。天気も安定している
- 登山は日帰り、観音寺コースから登り、城板岳コースで下山する計画
- パスポートの残存期間を確認（出発日時時点で残り3か月）
- 4月初旬に最終価格が確定するので、その後速やかに残金を振り込む
- 査証（E-ETA）は不要だが、韓国入国にはEアライバルカード（電子入国カード）の事前申請が必要。出発10日～1週間にパステル社から送付されるので、それに沿って手続きをすすめること（領事館などに行く必要はない）
- 上記ほか、確定行程、連絡先一覧などを1週間前にパステル社からご案内する
- 旅行保険に入っておくこと
- わからないことがあれば、遠慮なく荒木氏に問い合わせること：[k-araki2@live.jp](mailto:k-araki2@live.jp)

### 漢拏山の概要

韓国最高峰の漢拏山（標高1950m）について

- 韓国最高峰の漢拏山は標高1950mで、四国の剣山（1955m）とほぼ同じ高さ。韓国では2番目が智異山（1915m）、3番目が雪岳山（1780m）
- 漢拏山には5つの登山コースがあるが、環境保護のため山頂まで行けるのは2コースのみ。実際の最高峰（1950m）には立ち入り禁止で、火口湖がある東峰（1935m）までしか登れない
- 人気の山で、週末の晴れた日には山頂に200～500人が集まる
- 拏山は韓国の代表的な山で、環境保護のため厳しい入山規制がある
- 5月は登山のベストシーズンで、天気も安定している

### 登山コースと行程

今回のツアーで使用する登山コースと行程について

- 観音寺コース（5番コース）から登り、城板岳コース（4番コース）で下山する日帰り登山を計画
- 登山は日帰り、上りは約8.7km・6時間、下りは約9.6km・4時間の行程
- 登山道は整備されており、木道や階段が多い。最後の2割が急登になっている
- コースには250～260mごとに標識があり、上りは「5の1」から「5の34」（山頂）、下りは「4の36」（山頂）から「4の1」まで番号が振られている

- トイレは登山道の途中に数カ所ある
- 登山道は整備されているが、木道は雨の日は滑りやすいので注意が必要
- 昼食は海苔巻き弁当と水（500ml ほど）が用意される
- 最終行程は出発 10 日～1 週間前に送付する冊子で案内する

## 入山規制と注意事項

漢拏山の入山規制と登山時の注意点について

- 環境問題に敏感で、観音寺コースは 1 日 500 人、城板岳コースは 1 日 1000 人の入山制限がある
- 朝 5 時からゲートが開き、入山者数がチェックされる
- 韓国人は団体でも各自のペースで歩き、待たない傾向がある
- 水は 500ml のペットボトル 3 本程度を持参することを推奨。1 本は主催者側で用意する
- 入山には事前予約が必要だが、予約は主催者側で行う
- 自分のペースで歩き、無理をしないことが大切（2～3 回の休憩場所で皆さんの歩調を合わせる）
- ゴミは持ち帰り、登山道から外れないよう注意する
- 山頂でモニュメントの正面で写真を撮るのに 30 分～1 時間ほど待つことがあるので、モニュメントが入る画角での撮影を勧める

## 韓国旅行の準備

渡航前の準備や持ち物について

- 韓国電子渡航認証（K-ETA）は現在不要だが、E アライバルカード（電子入国カード）の申請が必要
- 海外旅行保険への加入を強く推奨。クレジットカード付帯の保険は補償内容を確認すること
- 保険は山岳保険でなく、一般の旅行保険で構わない（荒木氏は個人的に損保ジャパンに加入）
- キャリーバッグにザックを入れるか、ザックをサブバッグにするかは直行便なのでどちらでも良いが、お土産を買う予定ならキャリーバッグやスーツケースが良い
- パスポートの有効期限について、出発日の時点で 3 ヶ月以上の残存期間が必要
- 出発の 1 週間～10 日前に最終案内が送られる
- 入国カードは入国予定の 3 日前から申請可能
- パスポートは出発時点で 3 ヶ月以上の残存期間が必要
- 携帯バッテリーは預けることができず、機内持ち込みで足元に置くこと。
- 食事や水の違いなどから正露丸など腹痛薬が有効。その他持病薬など、薬の説明を

英語で付しておくのと空港などで質問された際に便利

## 韓国の言語・マナー・通貨

韓国での言語、マナー、通貨について

- ホテルなどでは英語や日本語が通じることが多い
- 韓国人は声が大きく、特に済州島やプサンではそうした傾向がある
- 通貨はウォンで、日本円の約 10 倍（1000 ウォン≒100 円）
- クレジットカードが広く使える。但し、露店などではウォンが必要
- チップは基本的に不要だが、ホテルでは 1 泊 1 人 1 ドル程度置いていくことがある
- 基本的な挨拶を覚えておくと喜ばれる
- 食事はキムチが必ずついてくる。辛さは観光客向けに調整されていることが多い
- 物価は観光地なので高め

## ツアー費用と部屋割り

ツアー費用と宿泊の部屋割りについて

- 参加費は 125,000 円に関空使用料と燃油サーチャージ 12,850 円を加えた 137,850 円
- 岳連から一人 10,000 円相当の支援金とパステルツアーから 10,000 円の特別支援金があるが、岳連の支援金は現時点での暫定額なので、最終案内時点での金額を確認してほしい
- 部屋は基本的に 2 人 1 部屋。希望があれば部屋割りの参考にする
- 屋割りの希望があれば伝えること

## 参考資料

外部ブログだが、次のブログが分かりやすいので参考にどうぞ！

「うんしるブログ」 <https://jejeunsil.net/entry/hallasan-mountain>